

## 専門部会 B テーマ「安心して子育てできる環境づくり」のまとめ（第 2 回区民会議報告）

報告者：検討経過 … 今井部会長

検討のまとめ 1～4 … 酒井委員、成田委員

### 部会まとめの基本的な考え方

身近な地域での子育てに関する交流、多世代による子育てサポートが必要である。  
（育ての責任はまず保護者にあり家庭にあるということは前提であるが）お母さん・お父さんの精神的な支えの充実、また、子どもたちが地域の中で健全に成長していくことができるよう地域全体で子育てを支えていくことが、部会まとめの考え方である。

まとめ 1～4 の取組を進めるには、こども総合支援ネットワーク会議などでの検討を通して、地域の力を結集した取組を具体化する。

### 1 子どもと安心・安全に遊べる居場所、子育て交流の場づくりを進める

#### 課題

安心してベビーカーで行動できる駅、商店街、道路や、死角がなく世代を超えて安全に遊べる公園などの整備が求められている。こども文化センターなど地域にある施設の充実、子育て広場、母親クラブなどのように親子が歩いていける身近な所に気軽に集まれる居場所・交流の場が必要である。

また、孤立、子育てに不慣れな保護者が増えているなか、身近な地域に、気軽に相談できる相手や理解して支えてくれる方を増やすことが必要である。

#### 取組の方向性

身近な地域にある施設などを活用して、親子で遊べる場、地域での子育て支援・交流の場を広げていく。

地域での多世代による気軽に子育ての話ができる場、気軽な形での声掛けなどを広める。

#### 具体的な取組

子育ての楽しみや喜びを分かち合える場として、ベビーカーで歩いていける小学校区に子育て広場などの交流の場があるとよい。町内会館、こども文化センターなどの活用を進める。

交流の場の運営を支える人材が必要であり、「交流の場」開催時に、地域の運営ボランティアの活動のきっかけとなるようボランティア体験会を行う。

認可保育所の園庭開放や子育て支援センター利用などをもっと広報する。

保育所園庭開放は親子で遊ぶだけでなく親どうしを繋ぐ場にする。

地域子育て支援センターなどで地域のいろいろな世代の方と気軽に子育ての話ができる座談会などを行う。

### 2 読み聞かせや音楽の親子体験など子どもの豊かな心をつちかう機会を増やす

#### 課題

親子の心のスキンシップなどを通じて、子育てを楽しく感じられること、子どもの豊かな心を培うことが必要である。

#### 取組の方向性

子ども達の豊かな心をつちかう機会の拡充、親子のふれあいを進める。

#### 具体的な取組

未就学のこどもを対象とした読み聞かせ講座や音楽会の実施など、地域で活動している団体などと協力して、読み聞かせや音楽などを親子で体験できる機会を増やす。

お母さん・お父さんが、こどもに読み聞かせをするための読み聞かせ講座の実施

### 3 子育てに関するニーズの把握と子育て情報の発信を充実させる

#### 課題

孤立、子育てに不慣れな保護者が増えている中で、どんな支援が必要とされているのかをしっかりと知る必要がある。また、情報が氾濫して本当に必要なものがわからなくなる状況がある。

#### 取組の方向性

子育て家庭が集まる場所での情報提供、紙媒体やITをもっと活用して、必要な人に必要な情報を発信していく。

#### 具体的な取組

子どもの定期健康診査の際にアンケートなどを行い、その年齢に合わせた問題点・ニーズを把握し、子育て支援の情報提供に役立てる。

定期健康診査や子育て広場等でのイベントの時、会場に情報提供コーナー等を設置する。

区役所の子育て支援情報紙やホームページ情報の充実、公園などへの子育て情報掲示板の設置、携帯電話の活用など多様な情報提供を行う。

### 4 「ふれあい子育てサポート」のヘルパーを増やして働くお母さん・お父さんの子育てをサポートする

#### 課題

約 18%の方が保育所を利用、認可保育所申請者数は年々若干増し、待機児童数は減ってはいるが、まだ待機がある状況。保護者の働く形態に合わせた保育の充実、仕事や子育てをしやすい環境づくりが求められている。保育園への送迎や残業時の一時預かり等を行う「ふれあい子育てサポート事業」は、ヘルパー登録者を増やすことが必要である。

#### 取組の方向性

「ふれあい子育てサポート事業」の利用がしやすくなるよう区内のヘルパー登録者を増やすための取組を行う。

#### 具体的な取組

「ふれあい子育てサポート事業」が利用しやすくなるよう幸区役所や幸市民館など身近な所を会場に子育てヘルパー登録研修を行い、幸区内の子育てヘルパーの人数を増やす。